

## 担い手の経営のライフステージに応じた支援

 (7) 担い手経営体・新規就農者合同セミナー
JA 上伊那（長野県）

新規	継続
	○
	(平成 21 年 8 月)

1 動機 (経緯)	<p>当 JA では、地域や農業の将来を見据えた取組やあり方について、各地区の話し合いにより、「人・農地プラン」とあわせて「地域農業振興ビジョン」を策定しています。</p> <p>平成 30 年度以降の米の需要に応じた生産の実施、地域農業のあり方を踏まえ、地域の農地を守り、元気で活力ある地域を構築することを目的とした、地域農業の中心的立場である担い手経営体（認定農業者・集落営農組織）及び新たな担い手である新規就農者を対象にセミナーを開催します。</p>
2 概要	<p>農業改良普及センターの後援をうけ、JA 営農部門が主催となり、上伊那地域の上記対象者に対し、情報提供や基調講演を中心としたセミナーを開催しました。</p> <p>また、金融部より農業資金の紹介を行い、金融に関する情報の提供を行いました。</p>
3 成果 (効果)	<p>開催月：平成 28 年 8 月</p> <p>(内容)</p> <p>1. 実践報告 &lt;30 分&gt;</p> <p>    題目：「伊那市で就農した脱サラ農家の 8 年半」</p> <p>    講演者：伊那市 松本農園 松本 竜司 氏</p> <p>2. 基調講演 &lt;90 分&gt;</p> <p>    題目：「農政の展開方向とコメ産地の対応課題」</p> <p>    講演者：新潟大学 農学部 農業生産科学科 助教 伊藤 亮司 氏</p>
4 今後の予定 (課題)	<p>新規就農者に対して今後規模拡大等による投資計画が見込まれる中、農業資金(制度資金等)や各種補助金斡旋(JA 系統、行政)等に際し、JA が選ばれる(窓口になれる)よう金融・営農連携のうえ管内の就農者と接点を持てる機会を継続して作っていきます。</p>